



成長を実感して！ —2学期終業式校長の言葉—

校長 千代田 栄

今日で2学期が終わります。この2学期を振り返って見ると、世間では、ラグビー・ワールドカップが行われ、日本代表が史上初のベスト8になりました。日本中がラグビーの面白さに魅了され、にわかラグビーファンがたくさん生まれ、テレビにかじりついていました。ラグビーでは、日本国籍を持っていなくても、日本代表チームに入ることができます。今回の日本代表は外国籍の選手が多い中、気持ちを一つにして日本の代表として各国と戦い、素晴らしい試合を展開してくれました。「ONE TEAM (ワンチーム)」が今年の流行語大賞に選ばれましたが、国籍など関係なく目標を一つにして戦った姿は、日本国民に感動を与えてくれました。

学校では、毎日の授業のほかに、生徒会選挙やロードレース大会、合唱祭などの学校行事や部活動の新人戦やコンクール等がありました。3年生は受験に向けて勉強に力を入れたり、上級学校訪問をしたりして進路選択に向けた取組も行ってきました。また、落ち葉はきや南畑クリーン作戦などのボランティアへ多くの生徒が参加していてとても嬉しかったです。2学期の始業式の時に『様々なことに取り組み自分自身を成長させて欲しい』という話をしました。どうですか。皆さんは、自分自身を成長させることができましたか？

皆さんは、授業はもちろんのこと、様々な行事に熱心に取り組み、どの学年の生徒も各自が努力するとともに、学級や学年で協力するなどして、自分達の持っている力を出し切ったり、団結する素晴らしさを実感しながら成果をだしたりして、成長している姿を見せてくれました。特に、合唱祭では、1年生の頑張りを感ずるとともに、2、3年生の成長のすごさを感じました。各学年の学年合唱を聴いたとき、『今年の1年生は違うな』と感じるとともに、2年生と3年生は、『立派になったな!』、『すごいな!』とつくづく感じました。また、ロードレース大会では、各自が自分の目標を目指して頑張っていました。今年は、残念ながら、台風の影響で豚汁を食べることができませんでしたが、皆の頑張っている姿や笑顔を見ることができてとても嬉しかったです。その他にも、「知識として新たに分かったこと」や「できるようになったこと」、「頑張ったこと」、「成長したこと」がたくさんあると思います。自分自身や仲間達と振り返り、自分の成長を実感し、これからも自分を成長させるために、前向きに一生懸命に取り組んでください。そして、学校全体が『ONE TEAM (ワンチーム)』となり、この東中学校を自信と誇りの持てる『格好良い学校』にしていきましょう。

明日から冬休みです。『1年の計は元旦に有り』と言われる。新しい年の抱負や目標を定めて、よい年を迎えてください。1月8日に元気な皆さんに会えることを楽しみにしています。

学校評価授業アンケート集計結果（令和元年12月実施）

学校評価授業アンケートを271名の生徒に行った結果は以下の通りです。

質問項目 %は質問に対してあてはまると答えた割合です。各教科の平均の数値です。
()は昨年度の数値の平均です。

- ①先生は授業開始時に学習のねらいや目的、課題等を示していましたか。 81% (76%)
- ②先生は話だけでなく、写真やカード、実物等、視覚情報を提示するなど興味や関心を持てるようにしていましたか。 78% (63%)
- ③先生が書く黒板の字の大きさや黒板に提示する資料（図や写真等）の大きさは適していましたか。 90% (88%)
- ④個人でじっくりと課題や活動に取り組む時間や自分で選択できる活動がありましたか。 81% (86%)
- ⑤ペアやグループ学習で、自他の考えを参考にして知識や考え方を広げたり、深めたりする活動がありましたか。 73% (71%)
- ⑥これまでに学習した内容等を活用して、新たな発見や気づきを実感することがありましたか。 73% (65%)
- ⑦授業の最後に学習した内容について、自分のことばでまとめる活動がありましたか。 61% (61%)
- ⑧あなたにとって、熱心で分かりやすい授業はどの教科でしたか。 63% (55%)
- ⑨生徒の理解に応じて進めていた授業はどの教科でしたか。 67% (55%)
- ⑩【2・3年生のみ】 昨年度の授業と比較して、わかりやすくなったり楽しくなった授業はどの教科でしたか。 49% (61%)

昨年度と比較して、ねらいや目的、課題等を示したり写真やカードなど視覚情報により興味・関心を高める工夫で数値が上昇しました。その結果、熱心でわかりやすい授業と理解に応じて進めている授業で数値が上昇しました。反面、2・3年生の昨年度と比較してわかりやすくなったり、楽しくなった授業については下がってしまいました。

今後も引き続き、学習活動の質の向上を目指して、授業改善と見直しを行っていきたいと思います。よろしく願いいたします。

「いのちの授業」開催

『思春期のころとからだ』 令和元年12月19日(金)



【生徒感想より】

十二月十九日(金)、三年生は助産師さんの桜井裕子先生をお招きして「いのちの授業」を開催しました。

桜井先生は、新座市在住でご自宅で助産師の仕事を行っています。先生は普段から命に関わる仕事に従事している立場から「思春期のころとからだ」という演題でご講演いただきました。思春期を迎えた自分とどう向き合っていけばいいのか、ころとからだの仕組みについてわかりやすく話していただきました。

生徒たちは、クイズ形式やスライドを使ったわかりやすい説明に、終始和やかな雰囲気でのちの大切さについて考えることができました。

・おもしろくてわかりやすかったです。学校の授業だけではわからないこともまだまだたくさんあると思います。自分の身体を守るために、自分で「いや」とはつきり言うことが大切だと思います。